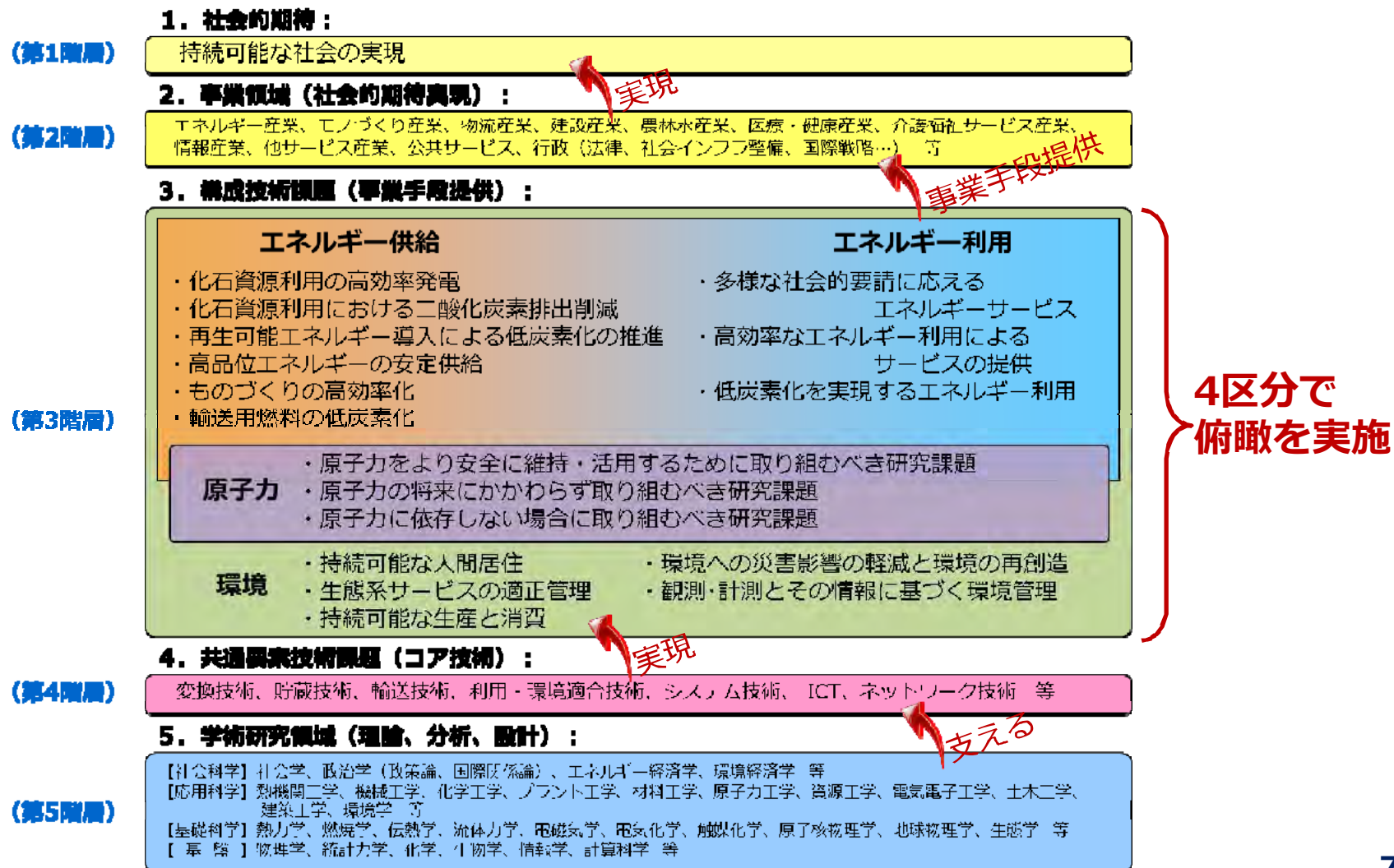


環境・エネルギー分野の全体俯瞰図

- 持続可能な社会の実現（社会的期待）に向けて、**3E+S** の同時克服を目指した研究開発が必要
3E+S : 安全性 (**S**afety) , エネルギーの安定供給(**E**nergy security), 経済効率性の向上(**E**conomic efficiency), 環境への適合(**E**nvironment)
- 社会的期待の観点から俯瞰し、アクターとしての事業領域、事業手段を提供する構成技術課題、コア技術となる共通要素技術課題、分野を支える学術研究領域を階層化



前回の俯瞰（2013年版）との比較

➤ 相違点

- 俯瞰実施区分（第3階層）

2013年版
化石資源エネルギー区分
再生可能エネルギー区分
エネルギー利用技術・システム区分



2015年版
エネルギー供給区分
エネルギー利用区分
原子力区分
環境区分

- 震災後のエネルギーに関する課題の顕在化
- エネルギーと不可分の地球温暖化問題への対応

→ エネルギー分野を中心に俯瞰検討
（要素技術の視点から区分を設定）

- 多様性を基軸としたエネルギーのベストミックスの重要性

→ エネルギー3区分を供給・利用に再編成
前回検討できなかった原子力と環境を追加
（社会的期待の視点から区分を設定）

➤ 分野における状況変化

- 化石資源輸入増加、太陽光発電の急激増加、電力改革などを背景に、再生可能エネルギー導入、化石資源エネルギーの高効率利用や省エネルギー及びCO₂排出削減の機運の更なる高まり

1. 分野の変遷

2. 分野の範囲と構造

3. 各俯瞰区分の構造と研究開発

- ① エネルギー供給区分
- ② エネルギー利用区分
- ③ 原子力区分
- ④ 環境区分

4. 国際比較結果

5. 今後の方向性